

自己診断

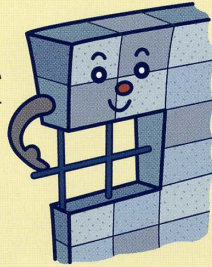
5つのチェックポイントを確認してください。
5つのチェックポイントのうちひとつでも該当するところがあれば専門家に相談しましょう。

チェックポイント 1

塀に鉄筋は入っていますか？

塀の中に、直径9mmの鉄筋が次のように入っているか調べて下さい。この点検は、塀を造った施工者などと相談して行って下さい。

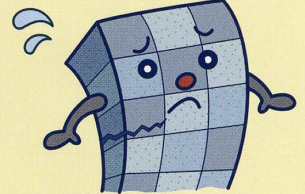
- 鉄筋は縦横ともに80cm間隔に入っていますか？
- 縦筋は頂部の横筋にかぎがけされていますか？
- 基礎の下側の横筋にかぎがけされていますか？
- 控壁の鉄筋は、図のように入っていますか？



チェックポイント 2

塀の傾き、ひび割れはないですか？

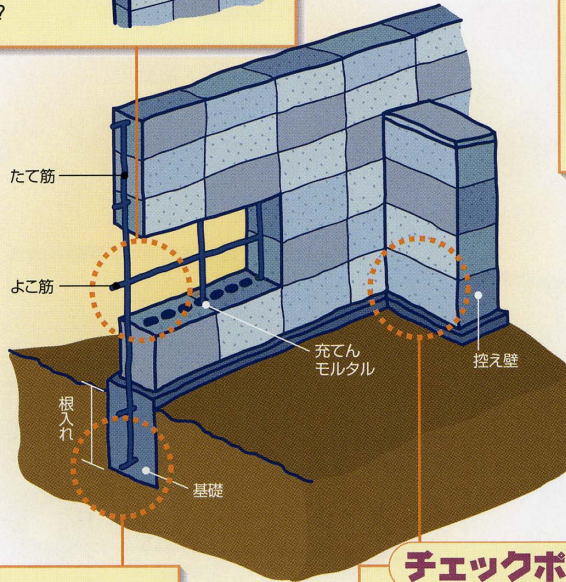
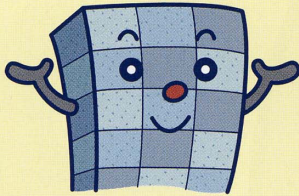
塀が傾いていたり、ひび割れていたりしていませんか？また、鉄筋が錆びていないか調べて下さい。



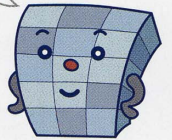
チェックポイント 3

塀の高さが高すぎていませんか？

塀の高さは、地盤面から2m以下か調べてみて下さい。



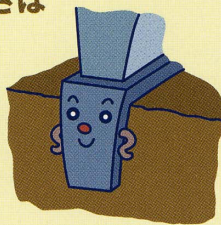
ぼくは
だいじょうぶ
かな？



チェックポイント 4

基礎あり、根入れの深さは十分ですか？

鉄筋コンクリートの基礎は、地盤面から30cm以上の根入れがされていることが必要。まわりを掘って調べてみて下さい。（「根入れ」とは、基礎のうち土の中に入っている部分のことをいいます。）

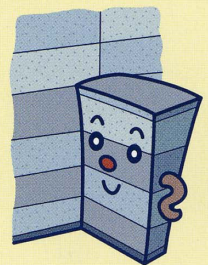


チェックポイント 5

控壁はありますか？

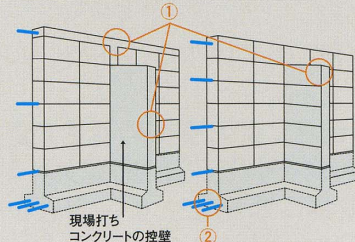
控壁は、次の2点について調べてみて下さい。

- 控壁は塀の長さ3.4m（ブロック8個程度）ごとにありますか？
- 控壁の長さは40cm以上ありますか？



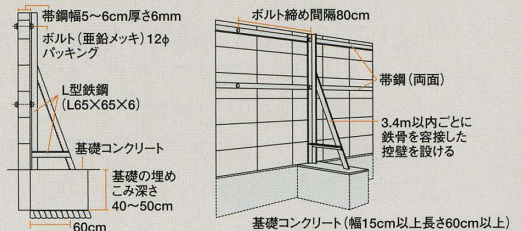
地震対策例

- ①控壁は、壁の長さの3.4m以内ごとに設け、中に鉄筋を入れて塀とつなぎ、控壁や塀の頂部はコンクリートブロックを積み、現場打ちのコンクリートにしたほうが安全です。また、塀の端部にも必ず控壁を設けましょう。門柱と塀を接続する場合は、双方とも丈夫な構造として鉄筋で十分つないで下さい。
- ②基礎の幅は、ブロック塀の厚さ以上とし、地中への埋めこみ深さは法律には30cm以上あればよいとされていますが、できるだけ35cm以上にするようにして下さい。基礎のたけは法律には35cm以上あればよいとされていますが、できるだけ40cm以上にするして下さい。なお、基礎は・L・型にするのがもっとも有効です。



ブロック塀の補強例

すでにあるブロック塀などでも正しく工事がされていないものや、老朽化しているものは早めに専門家の点検をうけ、取りこわすか、補強しておくことが必要です。参考としてブロック塀の補強の一例を示しておきますが、なるべく危険な塀は取りこわして安全にしておきましょう。



ブロック塀は私的財産です。所有者の責任における管理が必要です。

●お問い合わせ先

福岡県建築都市部
建築指導課 建築指導係・建築審査係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL.092-651-1111(代) FAX.092-643-3754

